

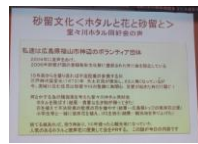
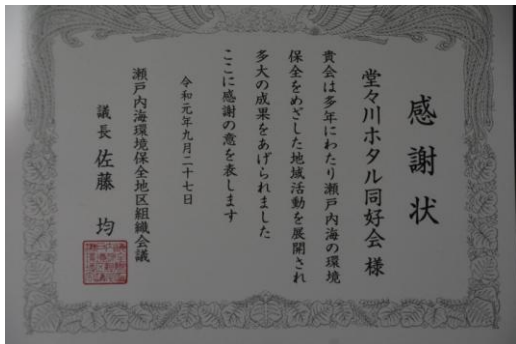
2019 (平成31=令和元) 年度10大ニュース

堂々川ホテル同好会 12月末 事務局作成

私たち同好会は、活動を進化させ砂留文化「ホテルと花と砂留と」を繋ごうのテーマのもとに活動を行い、14年目が終わる。10大ニュースの発行の始まりは平成21年から今年で連続11年目になった。若い世代の会員が増え新しい砂留も発見した事などを含め、例年通り10大ニュースを作成した。

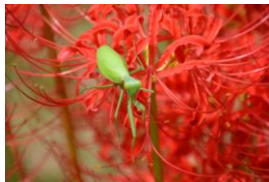
1. ホテル同好会の認知度が拡大した。今年は瀬戸内圏が多かった。 (会の名誉)

福山市を中心にして、いただいていた表彰が県から瀬戸内圏に広がっている。瀬戸内海環境保全地区会議殿より感謝状を山口県新山で貰い、続いて事例発表をした。



2. 彼岸花の開花数が広島県トップになったか! (4、5、8~12月 福山の自慢)

植え始めて10数年子供たちと作った観光地、19万本が7月から12月迄開花する



花色は24色が咲き、自然フィールドでは花の種類日本一の里と評価する人も居る

(今年の植栽 5700 球)

3. ホテルの里

(努力が報われた)

昨年の西日本豪雨の影響で福山のホテルの里はほとんどが壊滅状態でした。



堂々川5番砂留のみが川原で昨年並みに光り舞った。



4. 砂留整備

(日本登録有形文化財を守る活動)



6番砂留13年前の姿
マテヨ！ この危険な作業は誰がするのが良いのだろうか？

5. 中南米の公務員、JICA 研修の場になる 8年連続 (9月 国際交流)

9月19日に中南米7カ国からJICA(ジャイカ)の研修メンバー8人、堂々川で環境や災害の研修と砂留を見学された。各国のボランティア活動やごみ問題のテーマで、国際交流をした。



毎年美人が彼岸花をバックにモデルになってもらえる

堂々公園で相互の情報を交換

6. 新入会員高校生や大学生の活躍

(次代へ繋ぐ活動)

2018年に入会した高校生2名が迫谷から流れる砂を防ぐ砂留を発見した。瀬戸内5県の高校生が某大手新聞社の企画せとうち高校生新聞を発行した。その中に会員の近大福山高校が「備後のお宝発見」の記事を書いた。堂々川の6番砂留を題材に自然とロマンあふれる堂々川をテーマにしていた。又会報2019年7号(177号)の裏面に岡山大学大学院生が「堂々川になぜ大きな砂留が出来た？」をテーマにA4全頁に寄稿してくれた。評判が良かった。



7. 堂々川へ三原や広島安佐北区、観光協会主催の史跡めぐりのお客様が来訪（観光地）
 広島からバスをチャーターし歴史を学ぶツアーが2組、三原の砂防整備団体が3名
 史跡めぐりの方が60名来られた。



7月三原から



10月広島から



11月9日 彼岸花開花

8. 小学生と水質調査 (8月 環境教育)

今年で13回目の水質調査を堂々川3、5番砂留川原で御野学区公衆衛生推進委員会と共催で実施した。近隣小学生の夏休みを利用した自由研究のお手伝いもしている。又堂々公園で夏に水浴びをする家族連れが安心して楽しめるよう川の水質を福山市環境啓発課の出前教育で確認をしている。

今年の参加者は夏休み他行事と重なり30名強だった。



9. 不法投棄多発の9月 (綺麗を保つ作業)

9月の終わり2日続けて黒のポリ袋に各日5袋
 2番砂留川原と4番砂留川原の最上部へ道路から投げ捨てている。



別の日にはブロック、エアコンとテント、
 少なくともボランティアは処理に8時間。

10. 小鳥の巣箱掛け 2月

(自然保護)

福山市ふるさと納税の仕組みを利用（G C L）の返礼品の一つとして堂々公園に16個の巣箱を掛けた。

その中4個にシジュウガラ、ヤマガラがやって来て営巣をしたがシジュウガラの巣の一つはスズメに乗っ取られた。2つの巣箱から巣立ちした。



1個の巣箱からシジュウガラの巣を雛ごと盗り、堂々川5番川原のサクラの下へ投棄！いたずらをする人も居たようだ。

番外

1.1. 堂々川ホテル同好会の情報紙

(PR)

14年続いて2019年11月で179号となる。

広島県立図書館に1号(2006年5月創刊)から保管されており地元神辺の資料として利用できる。暇に任せて計算すると次号を来年1月に発行すると15年間、毎月1回発行したことになる。

事務局の皆さんありがとうございます。



過去の受賞・活動の歴史

2006年1月 広島県ラブリバー団体認定	2016年5月 福山ブランド活動部門登録
2007年3月 環境大臣賞受賞「ホタレンジャー」	2016年10月第1回全国砂留シンポジウム福山で開催
2009年3月 ふくやま環境賞受賞	2017年10月第2回全国砂留シンポ福井で開催参加
2009年5月 広島県景観会議 地域最優秀賞受賞	2017年11月ソロプチミスト全国ボランティア賞
2011年6月 国土交通大臣表彰『砂防設備の美化』	2017年11月ボランティア全国フォーラムで事例発表
2012年7月 小さな親切実行章受賞	2018年 7月日本水環境学会中四国支部 水環境活動賞
2013年6月 ひろしま環境賞受賞	11月広島県文化財賞
2013年11月 中国放送エコロジー大賞	2019年1月山陽新聞奨励賞
2014年5月 国土交通大臣感謝状 『みどりの愛護功労者』	9月瀬戸内海環境保全地区衛生活動賞
2015年6月 環境大臣「環境保全功労者賞」	2020年3月水環境文化賞 盛岡にて(内示)